



# 平成22年度総会 3月12日

# コミュニティー強化の方針確認

ふるさとネットは、3月12日に巣鴨の喫茶ルノール会議室で総会を実施。平成22年度の活動をまとめるとともに、平成23年度の活動方針を決定した。この中には、人工透析機早期導入のための協力や島内におけるコミュニティーの強化等が盛り込まれた。

## 平成22年度の活動報告

- 5月1日 三宅島新報第27号発行 : 26日～28日
- 14日 日本災害復興支援学会参加 : 住民懇談会(佐藤会長参加)
- (酒井副会長・横山事務局長)
- 16日 神楽坂青空フェスタ出店 : 11月1日 三宅島新報第30号発行
- 拡大世話人会(第19回世話人会) : 17日 第20回世話人会
- 18日 朝日新聞取材(佐藤会長) : 23日 映画「ロック」ロケスタッ
- 20日 在島者会議(神着福祉会館) : フに佐藤会長・光安さん赤飯
- 31日～6月1日 : 70食差し入れ
- 演奏会「三宅島へ音楽の贈り物」 : 12月6日 坪田高濃度地区説明会
- 兵庫県永田・菅原邦明さん・安 : (佐藤会長参加)
- 永さん・城村さん演奏 : 12日 50年目の故浅沼稲次郎委員長
- 6月16日 村議会(人工透析導入請 : 追悼集会(佐藤会長参加)
- 願 満場一致可決) : 24日・25日
- 20日 在島者会議 : 島内独居高齢者120世帯にお米を
- 7月1日 三宅島新報第28号発行 : プレゼントする
- 4日 島市出店(阿古) : 1月1日 三宅島新報第31号発行
- 17日 読売新聞 在京者取材 : 9日 災害復興学会総会(佐藤会長参加)
- 29日 映画「ロック」美術協力 : 17日 神戸1・17のつどい
- 8月7日～10日 : (DTPA相澤さん参加)
- 向上高校新聞委員会、DTPA : 18日 臨時村議会にて坪田高濃度
- 三宅島にてボランティア : 地区の条例改正を行う
- 9日～帰島5周年行事説明会 : 22日 高濃度地区在京住民説明会(横
- 18日・19日 : 山事務局長参加)
- 及川先生他による「健康講座」 : 29日 新年会(ピストロおきみくら)
- 21日 練馬区防災ユースサミット(横 : 19日 第21回世話人会
- 山事務局長・加藤さん参加) : 3月1日 三宅島新報第32号発行
- 24日 読売新聞取材(佐藤会長) : 2日 在島者会議
- 9月1日 三宅島新報第29号発行 : 6日 島市出店(坪田)
- 4日・5日 帰島5周年記念式典 : ☆その他の活動☆
- 10月3日 神楽坂青空フェスタに出店 : ※訪問活動…事務局・DTPA・
- 24日 島市出店(阿古) : 酒井副会長の3チームで実施
- ※ふれあいコール…随時行う

### 前年度の取り組み

#### ①広報活動

三宅島新報は、DTPAのご努力により隔月発行でき、ふるさとだよりも定期的に発行することができた。また、ホームページも定期的に行うこ

#### ②訪問活動

更新できたが、常に新しい情報を発信できるように、今後とも見直していきたい。

チームの3チームに分かれ活動した。一緒に買い物に出かけるなど、ニーズに合わせた活動ができた。訪問先は高年齢の方がほとんどで、定期的な訪問を続け

### 訪問活動 3チームで継続

## 青空フェスタ等で広げた交流

することが必要だ。ふれあいコールの充実も図っていききたい。

#### ③支援層と交流の広がり

神楽坂商店街の皆様のおかげで、今年度も神楽坂青空フェスタに参加できた。ふるさとネットの出店も定着しつつあり、リピーターもいた。今年度も明日葉の天ぷら等の実演販売が好評だった。

#### ④ご寄付・活動等の協力

事務局・DTPAと協力し、今後も続けていきたい。島内では「島市」に出店。売上金は高齢者支援に活用した。今年度も皆様からの温かいご支援頂き、三宅島新報の発行、訪問活動、他被災地との交流等、活動を広げる事ができた。感謝申し上げます。

# 平成23年度の方針

## 5年間を総括し新たな展開を

①長期噴火災害の課題を  
検証し生活再建・再生の  
本格的な取り組みを！

昨年、2000年噴火10年目、帰島5周年記念の節目を島民参加型行事として実施することを提唱し成功させた。また4月1日から坪田高濃度地区も条件付きながらも滞在も可能となった。しかし道路やNITの工事などに比べて、生活再建を基にした地域再生の動きは聞こえてこない。この背景には、各行政機関



3月12日に行われたふるさとネットの総会

「安心の島づくりを進める努力」を進める努力

の復興に対する考え方が社会基盤整備に限定し、生活・地域再生は自己責任で被災者を突き放した国・自治体の政策がある。このため村政への失望感は根深い。

今、災害復興の在り方の見直しや日本災害復興学会などで検討されている。三宅島の現状こそ長期災害の原型にも関わらず、私たちの発信力は微弱であるため政治問題化、社会化、制度化に乏しい。本紙やホームページなどで被災者救済の在り方の根本を発信していかなくてはならない。

②三宅島ふるさと再生ネットワークの5年間の取り組みを総括して重点的な活動を目指す。

6年前の全島避難指示解除は、「帰りたいくても帰れない」島民約一千人を置き去りにしてきた。4年半の避難生活と現在も続く火山ガス放出は、島民の生活基盤を破壊。経済力の低下、高齢化、高感受性者の火山ガスの影響、高濃度地区指定での住居・生業禁止などは、帰島判断と生活再建、地域再生を困難にしてきた。その結果、島内外島民の格差が生じた。行政機関が被災島民の自己責任論を強調したため格差は解消されず、高濃度地区住民は「第二次避難生活」を余議なくされるなどしている。

私たちは、この現状を直視し、在京者訪問活動のほか、高濃度地区被災者の声を発信してきた。また、島の高齢化問題、人工透析機導入支援、三宅島災害の社会化にも取り組んでいる。これらの活動の継続と島民の自発性を基にした、再生のための島内活動も活性化させたい。

③具体的な活動について

1 訪問活動は点検、総括を行いより有効な方法を検討する。  
2 「三宅島新報」「ふるさとだより」による村の情報提供など継続する。  
3 島の現状発信のためマスコミ、大学研究機関、日本災害復興学会、各地被災地との交流を行う。  
4 坪田高濃度地区問題のためのアンケートなどを検討する。  
5 人工透析機早期導入のために協力する。  
6 神楽坂青空フェスタは、実行委員会を作り充実させる。  
7 三宅島再生の島内活動を発展させるとともに、島内におけるコミュニティの強化を目指す。その他、必要に応じて活動を行う。(要旨)

者の声を発信してきた。また、島の高齢化問題、人工透析機導入支援、三宅島災害の社会化にも取り組んでいる。これらの活動の継続と島民の自発性を基にした、再生のための島内活動も活性化させたい。

## 平成23年度役員

- 会長 佐藤就之
- 副会長 酒井一豊 池田金好
- 事務局長 大石陽子
- 事務局次長 糸井真由美 (会計) 加藤さおり
- 世話人 山田貴久 山尾啓子 相澤春歌 吉田信行 永山詩織 菊池忠男 勝見吉雄 光安千久子 京町(みやこ) 伊藤奈穂子 横井和之 草野絵里 佐藤健哉 内田愛理
- 監査 大坊千代子 小林 舞 (順不同・敬称略)

## ふるさとネット22年度決算・23年度予算

科目	予算	決算	2011年度予算案
寄付金	550,000	462,000	500,000
活動収入	100,000	276,179	200,000
雑収入	10,000	25,401	40,000
前期繰越金	296,658	296,658	214,809
収入合計	956,658	1,060,238	954,809

科目	予算	決算	2011年度予算案
新報費	550,000	433,280	550,000
訪問活動費	10,000	111,210	40,000
活動費	150,000	212,248	200,000
会議費	40,000	10,200	25,000
事務備品費	30,000	14,261	20,000
通信費	100,000	42,040	60,000
渉外費	70,000	20,000	50,000
雑支出	6,658	2,190	9,809
支出計	956,658	845,429	954,809
次期繰越金	0	214,809	0

### 三宅村人事異動(前職)

#### [課長級]

・議会事務出向 千葉弘幸(中央診事務長)・総務課長兼選挙管理委員会事務局 吉田稔彦(地域整備課長)・総務課税務担当課長 曾我部宏一(議会事務局長)・総務課会計担当課長 高松幹也(総務課主幹)・村民生活課長 中村敏郎(村民生活課住民・環境衛生担当主幹)・中央診療所事務長 竹山智洋見(企業課長)・観光産業課長兼農業委員会事務局 高松市郎(教育課長)・観光産業課運輸・空港担当課長兼企業出納員 替地千穂子(村民生活課長)・地域整備課長 山上力(産業振興課長)・教育委員会出向 島村幸明(観光振興課長)

#### [出張所]

・坪田出張所所長 浅沼由紀(神着出張所所長)・神着出張所主任 佐久間里香(伊豆出張所所長)・伊豆出張所主任兼伊ヶ谷出張所 光安由紀夫 (4月1日付)

# 変化する島の状況 不安の中に明るい話題も



未帰島者宅の取り壊し(三宅高濃度地区)

坪田高濃度地区の条件付き無期限滞在が始まったが、滞在者は避難前の1割程度だ。また、人工透析機問題の解決もめどが立たない。一方で、映画「ロックくわんこの島」公開日程決定などの朗報もある。

**坪田滞りは避難前の1割**  
坪田高濃度地区における条件付き無期限滞在の者は29世帯39人。避

### 人工透析有志の会発足

「人工透析早期導入を切望する有志の会」が患者と家族、友人、知人などに呼びかけて発足することになった。村議会でも毎回促進を求める声は

難前には、155世帯、307人。世帯数で18.7%、人口で12.7%に止まり、地域再生施策が急がれている。

### 「ロック」7月23日から

映画「ロックくわんこの島」は、7月23日から全国公開されることになった。フジテレビの「めざましテレビ」は、4月14日7時過ぎに「ロック」が被災地に勇気を」と三宅島の噴火や映画の一部を紹介した。また映画の主題歌を小田和正シンガー・ソングライターが書き下ろした新曲「Hello, Hello」を4月20日にニューアルバム「ドーモ」に収録発

### 【お便り】

日頃は色々とお世話になりました。島に戻り一週間になります。佐藤会長はじめ皆さまには大変お世話になりました。島民全員が早く戻れることを心より願っております。(伊ヶ谷 S様)

### 【ご寄付者名】

飛鳥泰次様、伊藤奈穂子様、佐藤宗ノ子様、吉田信行様、森田幸江様、島市売上金(2月16日～3月31日)ありがとうございました。

### 編集後記

今回の震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災がメディアに注目される中、三宅もまだ支援が必要な状況です。今年度は青空市の企画も担当させて頂くので、さらなるPRをしたいと思います。微力ではありますが、頑張りますので、よろしく願います。(DTPA一同)

上がった。中央診で手伝ったこともある成島ますみ看護師からも、神津島施設開設に関わった方が一週間位看護師研修施設が有ると紹介があった。

売される。内容は、力強い希望が心に湧いてくるような優しさが満ちた楽曲と紹介。全島避難中に、島民の望郷の念を唄った五木ひろしの「望郷の詩(うた)」に続き楽しみだ。